

通訳案内士試験道場 韓国語で学ぶ日本⑪食文化

魚中心の料理

- ①狩猟と採集
- ②キビ、ヒエ、アワなどを収穫する文化が入ってきて、
- ③歴代の天皇たちは殺生を禁ずる仏教の教えに従い、肉食を禁ずる勅令を出し、宮廷料理人も動物/獣の肉を調理しなかった。
- ④イノシシなど動物の肉を食べることは「ケガレ」と考えら/思われた。
- ⑤雀、ウズラなどの野鳥類
- ⑥地鶏、特に雄鶏は食用とし、雌鶏はその卵で茶碗蒸しや卵焼きなどを作って
- ⑦レバー、ハツ、センマイなど、肉の臓物を焼いた焼き鳥
- ⑧魚料理がごちそうだと考えられてきた。
- ⑨海面を飛びまわるトビウオから淡水魚のハゼやナマズまで
- ⑩屁理屈（こじつけ）のように聞こえるかもしれないが、動物学的にはほ乳類に属する鯨は、大きな魚だと考えたため、食べても差し支えなかった。
- ⑪鯛と伊勢海老、そして赤貝
- ⑫腐っても鯛
- ⑬伊勢海老はその形が腰の曲がった老人のように見えるため、長寿を意味する
- ⑭駅のキオスクや列車内で販売される各地の名物の駅弁
- ⑮「花より団子」
- ⑯三陸沖はウニ、タラ、アンコウ、ホタテなど魚介類が豊富なので
- ⑰熱したフライパンに油をひいて焼くことが多いが
- ⑱ひれとエラをはずし/とって焼く塩サバ
- ⑲腹をさき切り目を入れてやく塩味の利いたさんま

生の料理

- ①素材の持ち味を生かせないことをタブー視するのだ。
- ②料理に手を加えすぎることを控えること
- ③もやしやソラマメ、枝豆などの豆類も、そのままゆでて食べる人が多い
- ④火の通っていない魚を切り、
- ⑤一にも二にも鮮度である。
- ⑥料理の腕のよしあし
- ⑦賞味期限のうちなら生卵さえ白身と黄身をかき混ぜてご飯にかけてそのまま食べるのも
- ⑧「自分が生まれた土地のものを食べよう」
- ⑨旬の料理

洋食

- ①日本人は体格が貧弱だったので、政府が伝統的な食生活に欠如していた肉食を普及し始めたことに由来する。
- ②白いご飯に合うように味つけを変え、箸で食べられるように料理を作り変えたのだ
- ③コロッケやカツなどの日本化したフライにウスターソースをかけ、みそ汁代わりにとろりとしたコンスープやシチューを食べたりもした。
- ④豚肉にパン粉をまぶし、揚げてどんぶりにしたカツ丼も、パンの中にあんこを入れて作ったアンパンもその例だ
- ⑤「国際（グローバル）化」現象

食器へのこだわり

- ①ご飯茶碗の場合、夏には指先にすずしさを与えてくれる磁器を、冬には手に温もりを与えてくれる陶器を使い分けることで、それぞれの雰囲気を生かしたりもした。
- ②コースター
- ③各自がそれぞれ使う塗り箸と、料理を作るときやおかずを各自のさらに分けるときに使う菜箸である。
- ④直箸は
- ⑤親指と人差し指、そして中指だけで使い、
- ⑥奇数が縁起のよい数だと考えたため、
- ⑦韓国人から見ると実に些細なことにまでこだわるようだ。
- ⑧一見（パッと見、）食器の大きさがまちまちに見えても、その目的に見合う大きさの食器を選び使うことも

医食同源

- ①薬剤師が処方してくれる粉薬や錠剤、抗生物質をのむようになったのは
- ②煎じ薬をのんだり、仏にすがったり（神頼みをしたり）するしかなかったのだ。
- ③すっぽんなど食べ物それ自体を滋養強壯の薬としてきた。
- ④このようなときほど、栄養価の高いうなぎの蒲焼が食べたくなる。
- ⑤土用の丑の日には甘い醤油ダレにつけておいたうなぎを焼く香ばしい匂いが通りにただよい、うなぎ屋の前は長蛇の列をなす。
- ⑥腎結石を防いでくれ、育毛剤にもなるわかめ
- ⑦女性には申し分（この上／非の打ちどころ）ない食品で、妊娠中の女性のつわりに効果があるだけでなく、乳癌やくも膜下出血まで防いでくれるのだ。
- ⑧海藻類の一種であるひじきも女性によく、骨粗鬆症や貧血を防いでくれ、便秘解消

の良い薬にもなる。

- ⑨明太子（たらこ）は肌をしっとりさせ/肌に潤いをあたえてくれ、
- ⑩梅酒は
- ⑪せきや痰など軽い風邪にははちみつが効果的だ。
- ⑫哺乳瓶に粉ミルクを入れて赤ちゃんにのませるだけではなく、離乳食として胃に優しい重湯も飲ませるのだ。
- ⑬ちりも積もれば山となる
- ⑭おなかについた贅肉を落としてくれる。
- ⑮良薬口に苦し
- ⑯ゴーヤー（ニガウリ）
- ⑰医食同源
- ⑱肉類に匹敵するほど優れたたんぱく質
- ⑲大豆を発酵させて作った納豆には、糸のようなネバネバした、血栓を防いでくれる成分が含まれている。
- ⑳鰹節でだしを取って作った味噌汁
- ㉑食物繊維
- ㉒血をサラサラにしてくれる効果
- ㉓和食は、まさにアンチエイジング（老化を防ぎ）、あるいは不老長寿のための各種成分の宝庫と（改めて）見直されている。

京料理

- ①シイタケにウズラの卵、シジミなどの佃煮、カブや長いもなどの青果
- ②選ぶのも一苦労なほどお総菜（おばんざい）はみなおいしそうだ。
- ③アンケートをとったところ
- ④京都のタケノコはえぐみが少ないのが特徴だ。
- ⑤根の部分や穂先の部分をまるごとガブリとかぶりつけば、口の中にじわりと広がる、独特なおいを含んだ筍の汁のおいしさに、食べ過ぎてしまうほどだ。
- ⑥口直しには豆腐一丁を昆布でゆで、しょうゆにつけて食べるのもよい
- ⑦精進料理、すなわち魚（肉）を食べられなかったお坊さんや尼さんのために作った、野菜や豆腐だけを使った料理
- ⑧豆乳を沸かすとき出来る薄い膜の湯葉、小麦粉のたんぱく質を精製してこねたふ

おでんと飲み屋

- ①カニ蒲鉾
- ②韓国では大根や卵はおでんの具（タネ）のカテゴリーにはなく、なんだかぴんと来ないかもしれないが、

- ③「おでん」というのはただの練りものだけではなく大根やニンジン、豆腐や厚揚げ（油揚げ）などをとろ火でぐつぐつにこんだものをひっくるめて言うのだ。
- ④何かが物足りない
- ⑤ごくごくとめちゃくちゃに一気に飲みする人たち
- ⑥酒の席での話/酔った勢い
- ⑦「手酌はいけませんよ」「さあ、ついでくれ」
- ⑧無礼講になるのも面白い。
- ⑨胃がもたれないように
- ⑩汁につけこんでやわらかくなった豆腐や大根

韓国語で学ぶ日本⑪食文化単語表現帳 氏名

①狩猟/②キビ/ヒエ/アワ/③勅令/宮廷料理人	
④ケガレ/⑤ウズラ/野鳥類/⑥地鶏/雄鶏	
⑥雌鶏/茶碗蒸し/卵焼き/⑦レバー/ハツ	
⑦センマイ/臓物/焼鳥/⑧ごちそう/⑨トビウオ	
⑨淡水魚/ハゼ/ナマズ/⑩こじつけ/差支えない	
⑪タイ/伊勢海老/赤貝/⑫腐っても鯛	
⑭駅弁 (20 字前後の韓国語で説明せよ)	
⑮花より団子/⑯ウニ/タラ/アンコウ/ホタテ	
⑰熱したフライパンに油をひいて焼く	
⑱ひれ/えら/塩サバ/⑲腹を裂き切目を入れる	
⑲塩味の利いたサンマ	
①素材の持ち味/タブー視/②手を加えすぎる	
③もやし/ソラマメ/枝豆/④火の通っていない魚	
⑤一にも二にも新鮮さだ/⑥料理の腕のよしあし	
⑦賞味期限/白身と黄身をご飯にかける	
⑧生まれた土地のものを食べる/⑨旬の料理	
①体格が貧弱だ/欠如/②味付けを変える/	
③コロッケ/カツ/とろりとしたシチュー	
④豚肉にパン粉をまぶし、揚げて丼にしたカツ 丼	

⑤グローバル化	
①ご飯茶碗/②コースター/③塗り箸	
③菜箸（30字前後の韓国語で説明せよ）	
④直箸（10字前後の韓国語で説明せよ）	
⑤親指/人差し指/中指/⑥奇数は縁起の良い数	
⑦些細なことまでこだわる/⑧一見まちまちだ	
①薬剤師/粉薬/錠剤/抗生物質/②煎じ薬	
②神頼みをする/③すっぽん/滋養強壯の薬	
④このような時ほど/ウナギのかば焼き	
⑤土用の丑の日/香ばしい匂いが通りに漂う	
⑤長蛇の列をなす/⑥腎結石/育毛剤/	
⑦女性にとって申し分ない食品/妊娠/つわり	
⑦乳癌/くも膜下出血/⑧ひじき/骨粗しょう症	
⑨明太子は肌をしっとりさせる/⑩梅酒	
⑪せき/痰/⑫哺乳瓶に粉ミルクを入れる	
⑫胃に優しい重湯/⑬ちりも積もれば山となる	
⑭ぜい肉を落とす/⑮良薬口に苦し/⑯ゴーヤー	
⑰医食同源/⑱肉類に匹敵するほど/	
⑲ネバネバする/血栓/⑳鰹節でダシをとる	
㉑食物繊維/㉒血をサラサラにする	

㉓アンチエイジング/不老長寿/見直される	
①ウズラの卵/シジミの佃煮/カブ/長イモ	
②お惣菜がみなおいしそうだ/③アンケート	
④えぐみが少ない/⑤丸ごとガブリとかぶりつく	
⑤食べ過ぎる/⑥口直し/豆腐一丁	
⑦精進料理 (30 字前後の韓国語で説明せよ)	
⑧湯葉 (10 字前後の韓国語で説明せよ)	
⑧麩 (10 字前後の韓国語で説明せよ)	
①カニ蒲鉾/②おでんの具/なんかぴんと来ない	
③練り物/厚揚げをとろ火でぐつぐつ煮込む	
③ひっくるめて言う/④何かが物足りない	
⑤ごくごくとめちゃくちゃに一気に飲む	
⑥酒の席の話し/⑦手酌/ついでくれ	
⑧無礼講/⑨胃がもたれる/	
⑩柔らかくなった豆腐	

通訳案内士試験道場 韓国語で学ぶ日本⑬建築

伊勢神宮と式年遷宮

- ①朝鮮の「壇君」に相当する建国の神
- ②とうとうと/よどみなく流れる冷たく清らかな（澄んだ）川が心身を清めてくれるかのようだった。
- ③表面的な（上辺だけの）飾りを無くしたログハウスのような形の建物
- ④元通りの形そっくりそのままに建てなおす。
- ⑤一寸も（寸分）違わぬ形で建て直され（建て替えられ）続けるが
- ⑥穴をあけるときもドリルではなくキリを使うほど
- ⑦国民的関心（注目）を集める。
- ⑧混じり気ない民族的なアイデンティティ（本来のあるべき姿）を明らかにし、
- ⑨装いを新たにした正宮において新たなご利益（お陰）をこうむるために丁重な（手厚い）礼をつくして祭事（祭礼）を行う。
- ⑩アマテラスを伊勢の地にお祭り（迎え）するようになった感激を思いおこし（かみしめ）

法隆寺五重塔

- ①ギリシャのエンタシスの柱
- ②五重塔、すなわち仏塔
- ③論より証拠（物事の違いは計ってこそわかる）
- ④木という材料のしなやかさが地震によって加えられたエネルギーを吸収しているのだ。
- ⑤ 木に穴を開け、カンナをかけて調節した他の木のほぞに合うようにはめたのもそうした理由だ。
- ⑥結合部分がきしむだけだ。
- ⑦柱（ボンボン）時計の振り子のように重心をとらえて/バランスをとって、互い違いにゆれるから
- ⑧「人事を尽くして天命を待つ」という言葉のように、苦肉の策でそのような条件を乗り越え（切り抜け）つつ
- ⑨温故知新の精神をもとに
- ⑩英知を結集した建築技術

姫路城と天守

- ①砦や要塞に始まるが
- ② 軍事的拠点としてたてこもるとき簡単には落ちない（落城しない）ように築城した

のがほとんどだ。

③豪勢な門構えの水原華城

④いわば象徴としての比重が高まるとともに、外観はもちろん内部装飾にも相当力を入れる（重きを置く）ようになった。

⑤およそ百棟の天守閣

⑥地震や落雷などの天変地異/天災

⑦ダイナミックな造形美を作り出すもの

⑧領主（城主）が政務をとっていた本丸を取り囲むように二重の外郭（二ノ丸と三ノ丸）がらせん状に配置されている。

⑨道沿いにいけば袋小路があつたり急に曲がっていたりして、行けば行くほど天守閣から遠ざかるような錯覚を起こす道もあり、複雑極まりない（甚だしく/この上なく複雑だ）。

⑩白い漆喰で塗った城壁に小窓が開いて（作られて）いるが、それは鉄砲を撃つためのものだ。

⑪切り取り線に沿って切り取り、のりで接着するペーパークラフトの城だ。

戦後の天守

①耳をつんざくような爆音

②城下町に生まれたこと

③やるせなさ（喪失感）、あるいは「負け犬根性/敗北感」

④絶望的だった敗戦国民たちに、不屈の（倒れても立ち上がる/七転び八起きの）精神をもたせ、同時に再び戦争にならぬよう肝に銘じさせる存在として、前向き/ポジティブな気持ちで

⑤高齢者に優しい構造で、エレベーターを設置したコンクリート造りで建てた。

⑥勇気づけてくれる存在

⑦考証も学術的検証もなく、

⑧見るに見かね、より大きな流れの中で（見地から）城をとらえようと

⑨時代遅れの産物/遺物

江戸城

①漁夫の利

②大名に労働力や資金を拠出させたことからみても、必要性にせまられてというよりも幕府の権力を誇示するための工事と思われる。

③子牛や子馬まで総動員し、

④請負で建設を任された棟梁（親方）たちは、各地から江戸にやってきた寄せ集め（烏合の衆）のような作業員（人夫）たちが手抜き工事をしないように監督した。

- ⑤足かけ約 60 年で完成した。
- ⑥ 北側の堀は神田川、南側は東京湾の入り江だった浜離宮まで広がった/達した。
- ⑦北京紫禁城（故宮）の 73 万平米をはるかにしのぐ 230 万平米だ。
- ⑧江戸時代が終りを迎えた際、幕府は明治政府に城を明け渡すことで、有終の美を飾った。

和室と庭、そして洋室

- ①イグサを編んで作った畳は、じめじめ蒸し暑い夏にはダニが増えるので、かゆくならないように
- ②和室は使い道が多く
- ③日当たりのよい南側の部屋は来客のときのみ使う「客間」だ。
- ④地味に見えるかもしれないが
- ⑤土蔵から雰囲気合う掛軸を持ってきて掛け、
- ⑥「金持ちぶる」のではなく、かえって「質素に/貧乏臭くする」のが特徴だ。
- ⑦見る目がある人
- ⑧かえって心の中に余韻が残る
- ⑨貧すれば窮（鈍）する
- ⑩暮らし向きがよくなくとも
- ⑪貸家（借家）であっても山水の自然景観を模して造った庭園があるのが普通だ。
- ⑫庭（植）木などを配したこだわりの（丹精込めた）庭は理想郷（桃源郷）が凝縮されている。
- ⑬庭に接した客間/応接間の片隅から眺めると、庭の真ん中の築山にはホウセンカ、松、つつじなどが植えられている。
- ⑭年を重ねてすり減った石灯籠は濃い緑色の苔が端切れをあてがったような形をしている。
- ⑮錯覚さえ起こす。
- ⑯レコード
- ⑰ごく少数/ほんの一握りの金持ち
- ⑱上辺だけでも「アメリカナイズした」ライフスタイルを実現するのは夢のまた夢だった。
- ⑲いつの間にか日本の農村の生活レベルも向上し、次第にアメリカに対する憧れも変わっていった。

韓国語で学ぶ日本⑬建築 単語表現帳 氏名

②よどみなく流れる清らかな川/③上辺だけ	
③ログハウス/④そっくりそのまま建て直す	
⑤寸分たがわぬ形で/⑥穴をあける/ ^{きり} 錐	
⑦国民的関心を集める/⑧アイデンティティ	
⑨ ^{よそお} 装いを新たにする/ご利益をこうむる/	
⑨丁寧な礼を尽くす/⑩感激を思い起こす	
①ギリシャのエンタシスの柱/②五重塔	
③論より証拠/④しなやかさ/⑤穴をあける	
⑤カンナがけをする	
⑥結合部分がきしむ/⑦柱時計の振り子/	
⑦互い違いに/⑧人事を尽して天命を待つ	
⑧苦肉の策でそうした条件を乗り越える	
⑩英知を結集する/	
① ^{とりで} 砦/②たてこもる/落城する/④重きを置く	
⑥落雷/天変地異/	
⑧政務をとる/本丸をとりかこむ	
⑩らせん状/袋小路/錯覚を起こす/	
⑨複雑極まりない/⑩漆喰/窓が作られている	
⑩鉄砲を撃つ/⑪切取線にあわせて切り取る	

①耳をつんざくような爆音/③やるせなさ	
③負け犬根性/④倒れても立ち上がる/	
⑤高齢者に優しい構造/⑥勇気づける	
⑧見るに見かねて/⑨時代遅れの遺物	
①漁夫の利/②資金を抛出する/~と思われる	
③子牛/子馬/④請負/棟梁/寄せ集め/	
④手抜き工事/⑤足かけ約 60 年/⑥堀/入り江	
⑦北京（二通りで）/平米（固有語で）/	
⑦はるかにしのぐ/	
⑨城を明け渡す/有終の美を飾る	
①イグサ/じめじめ蒸し暑い/ダニ/	
②使い道/③日当たりのよい部屋/客間	
④地味に見える/⑤土蔵/掛軸/⑥金持ちぶる	
⑥貧乏くさい⑦見る目がある人/余韻を残す	
⑨貧すれば窮する/⑩暮らし向きがよくない	
⑪借家暮らし/⑫庭木/こだわりの庭/凝縮	
⑬片隅/ ^{つきやま} 築山/ホウセンカ/（日本の）ツツジ	
⑭すり減る/⑭ ^{はぎ} 端切れ/⑰ほんの一握りの	
⑱アメリカナイズした生活	
⑱実現する/夢のまた夢/⑲いつの間にか	
⑲アメリカに対する憧れも変わっていった	

通訳案内士試験道場 韓国語で学ぶ日本⑮陶磁器

土器から陶磁器へ

- ①漆にかぶれぬよう漆器を作る技法
- ②土をこねて乾かしたり焼いたりしたこの器は水が漏れ(しみ)やすい土器ではあるが、
- ③竪穴住居にすんでいた時代の土器は、縄をまわして紋様をつけたりもして、
- ④波打つ様子を突起で表現した装飾、器全体を形作るとても手の込んだ装飾など、呪術的な力を感じさせる迫力ある形
- ⑤暖かく明るいふっくらした感じを与える新しい土器
- ⑥質的に劣る縄文土器
- ⑦まるで鉄のように硬い「須恵器」という新しいタイプの素焼き
- ⑧きめ細やかな/さらさらの黒土
- ⑨まるで粘土に触るような手触りを与える日本人好みの器をこつこつと/地道に作り続けてきた

茶道と陶磁器

- ①お触れを出して京都で大茶会を行うほど
- ②顔(面目)をつぶされたと思った秀吉がかんかんに怒ったからだ。
- ③小さな小部屋/納戸のような和室で 飾り気なくあきのこないデザインの陶磁器を使って
- ④茶会においてお点前の前に出てくる食事「懐石」
- ⑤茶道では四季折々、その季節にふさわしい器に料理を盛り付ける。
- ⑥茶会を催す亭主は真心を込めて器を選び、客をもてなす。

窯見学

- ① 外に漏れぬよう村の入口に重々しい/ものものしい雰囲気漂う関所を置き、蟻の這い出る隙間もないよう/水も漏らさぬ警備に神経をとがらせた/慎重を期した。
- ②それほどまで警戒を怠らなかったのに
- ③煙突から真っ黒な煙がもくもく出ている工房
- ④蒸し暑く足の踏み場もないほど道具や材料が置かれている工房は人手不足のようで、陶工たちがあわただしそうに働いていた。
- ⑤「早起きは三文の得」とはいうが、一般的に陶工たちはいわゆる夜型よりも朝型人間がおおい。
- ⑥一旦窯に火を入れると延々13日間は昼も夜も火を焚き続けねばならない。
- ⑦最後の二日間は「残業(夜勤)」という概念もないほどで、一睡もせずにとき口で寝

ずの番をしなければならない。

⑧パチパチいう木が燃える音とゴーツという窯に吸い込まれるような風の音が聞こえる

⑨恐る恐る/気をつけて釜から取り出しても、なかなか思い通りに焼けていない。

⑩生みの親も育ての親も

浅川巧と柳宗悦

①細長くきゃしゃで、そして時には気高くも悲しげで、暖かくもありやわらかくもある線の調和

②十二世紀の開城にきた宋の人は、このような青磁を前にして言葉を失い、ただ「これこそ最も優れた絶品」とため息をつき/感嘆し、それを「高麗の秘められた色」と命名した

③朝鮮総督府傘下の林業試験場の役人として働いた浅川は高麗青磁と朝鮮白磁の美しさに早くから目覚めた民芸研究者でもあった。

④伝統的なたんすや障子の備え付けられた朝鮮家屋で、パジチョゴリをこのんで着て、土鍋の汁にご飯を入れて食べた。

⑤また、ひげをのばし、朝鮮のキセルを使ったりもした。

⑥急性肺炎で息を引き取る直前、

⑦浅川の訃報を聞き、多くの朝鮮人たちが号泣し、

⑧葬列では棺を担ごうと願い（申し）出る人たちだけでも数十名に上った。

⑨浅川と同じタイプ/方向性の人物

⑩光化門撤去を阻止するため、「嗚呼、光化門」という文章を投稿した民芸運動家の第一人者とみなされた柳は、浅川に感化され、アドバイスも受け、朝鮮文化に心から親しんだ。

⑪大量の著書を残した彼は、朝鮮白磁の白い色を「悲哀の美/かなしみを込めた美しさ」と表現したことでよく知られている。

⑫趣味が高じて慶福宮に「朝鮮民族美術館」を設立した。

⑬民族間の融和を図りながらも口先だけの役人たちが大部分だった。

⑭たとえ役人であったといえど、浅川の生き方は新しい日韓関係を作り上げていくきっかけ（手掛かり、糸口）になる。

民芸運動

①パリ万博に彗星のごとく現れた日本の陶磁器が、空前絶後の日本美術ブームを瞬く間に引き起こしたからだ。

②かさばるにもかかわらず日本の陶磁器を買い入れ、宮廷の壁にすき間なく飾るほど愛された/愛でた。

③業界の流れ/主流

- ④庶民の身近な生活に残っている光/陽の当たらない美に焦点を当てる「民藝運動」
- ⑤つまらぬものとばかり軽んじられていた陶磁器が、それを契機に「民衆の芸術」として注目を浴びるようになり、かえってプレミア/希少価値が付き始めたのだ。
- ⑥力はあるながらも日の当たらぬ/評価されぬしがない朝鮮の陶工たちの普段使いの陶磁器を見て、血がたぎる/わくような感動を受けた。
- ⑦作品性を重んじる考えを変え、77歳で大往生/天寿を全うするまで地味でも/見栄えせずとも目に優しい/見ていて和む実用的な陶磁器を作った。
- ⑧三冠王として推薦されたが、使う人の手になじむ陶磁器を作ることを誇りとし、それで十分だと思っていたため、断った/辞退したのだ。

陶芸教室

- ①灯台下暗し
- ②モチーフをデッサンしてから白磁に描く人、
- ② 大きなかめや壺、徳利、燭台、茶道用の茶碗など、素朴な普段使いの器を作る人
- ③ 万事呑み込みが遅い/何事も不器用なほうなので、初めは慣れない/ぎこちない手つきで土をこねていた。
- ⑤やればやるほど伸びる/上達するというが、
- ⑥非対称的なものばかりだ
- ⑦傷があり、曲がっていて、ゆがんでいるもの、さらにはふちが欠けた物さえも好む
- ⑧「あばたもえくぼ」という諺通り、陶磁器の表面を肌だとすると、外国人があせもとみるものを、日本人は可愛いそばかすやえくぼとみるのだ。
- ⑨「出藍の誉れ（分家が本家を追い越した）」というべきか
- ⑩癖のある陶磁器
- ⑪古墳の周りに並べられたり、埋められたりした土人形
- ⑫秦の始皇帝の兵馬俑
- ⑬脇目もふらず/一心に作品作りに集中すると、少しずつ上達したようで、地区で開かれたアマチュアの展覧会に出展したところ努力賞をもらうまでになった。

韓国語で学ぶ日本⑮陶磁器 氏名

①漆にかぶれる/②水が漏れる/③竪穴住居	
③紋様をつける/④波打つ様子/手の込んだ装飾	
④呪術/⑤ふっくらした/⑥質的に劣る	
⑦鉄のように固い/素焼き/⑧サラサラの黒土	
⑨粘土/日本人好みの器をこつこつと作り続ける	
①お触れを出す/②顔をつぶされる/	
②かんかんに怒る/③飾り気ない/飽きのこない	
④懐石 (20 字前後の韓国語で説明せよ)	
⑤四季折々/料理を盛り付ける/⑥器を選ぶ	
①外部に漏れる/ものものしい関所/	
①蟻の這い出るすき間もない/慎重を期する	
②怠る/③煙突/真っ黒な煙がもくもく出る	
④蒸し暑い/足の踏み場もない/人手不足	
④慌ただしそうに/⑤早起きは三文の得	
⑤夜型/⑥延々13 日間昼も夜も火をたき続ける	
⑦残業/一睡もせずたき口で寝ずの番をする	
⑧パチパチいう木が燃える音/⑨恐る恐る	
⑨なかなか思い通りに焼けない/	
⑩産みの親/育ての親	

①きゃしゃだ/気高い/②言葉を失う/	
④土鍋の汁にご飯を入れて食べる/	
⑤ひげを伸ばす/キセル/⑥肺炎で息を引き取る	
⑦訃報/号泣する/⑧葬列/⑨ツーカーの間柄	
⑩撤去を阻止する/彼に感化される/	
⑩朝鮮文化に心から親しむ/⑪大量の著書	
⑫趣味が高じて/⑬融和を図る/口先だけの役人	
⑭糸口/	
①万博/彗星/空前絶後/日本美術ブーム	
①瞬く間に/②かさばる/すき間なく飾る	
③業界の流れ/④庶民の身近な生活/	
④日の当たらぬ美に焦点を当てる/	
⑤つまらぬものと軽んじられる/プレミア	
⑥力はあるながら日の当たらぬしがない陶工	
⑥血がたぎるような感動/⑦大往生する/	
⑦地味だ/目に優しい色/⑧手になじむ陶磁器	
①灯台下暮らし/②モチーフ/デッサン/	
③かめ/壺/徳利/燭台/茶道用の茶碗	
③普段使いの器/④呑み込みが遅い	
④慣れぬ手つきで土をこねる/⑥非対称的	
⑦傷があり、曲がっていて歪んでいる	

⑦ふちが欠けている/⑧あばたもえくぼ	
⑧あせも/そばかす/えくぼ/	
⑨分家が本家を追い越す（成語） / ⑩癖のある陶磁器	
⑪埴輪（20 字前後の韓国語で説明せよ）	
⑫秦の始皇帝/⑬脇目もふらずに/上達する	

通訳案内士試験 韓国語で学ぶ日本⑩年中行事

正月

- ①出入口の両側を門松で飾るのだ。
- ②新年のあいさつをする風習があるが、かしこまって手をつき（深々と）お辞儀したりはせず、健康を祈って漆塗りの盃に注いだお屠蘇をいただく。
- ③子孫が栄えて健やかに育ち、子々孫々家を継いでほしいという意味で数の子を食べる。
- ④束になっている年賀状があるか郵便受けの中をくまなく探す。
- ⑤年賀状は宝くじの番号が印刷されている葉書形式が多く
- ⑥たこあげやこま回し
- ⑦木の板で作った羽子板で羽根を打つ「羽根突き」など伝統的な遊び
- ⑧さいころを使って遊ぶ「双六」
- ⑨和歌（短歌）を詠みながら歌の下の句が書かれている札をとる百人一首という優雅なカルタ取り
- ⑩正月三が日
- ⑪選考試験
- ⑫寝正月になる（ごろごろする）より
- ⑬紙袋（ショッピングバッグ/買い物袋）の中に多様で高価な商品を入れ、
- ⑭駅伝
- ⑮往路も復路も/行きも帰りも
- ⑯裏番組
- ⑰元日か二日/初日と二日目に、
- ⑱仕事（御用）始め

春

- ①大雪（豪雪）で多くの人の足が奪われる（足止めを食らう）冬から、暖かい日差しがさす春になる季節の変わり目にあたる2月4日が立春だ。
- ②一家の主が「福は内、鬼は外！」と叫びながら、マスに入っている煎り豆をまく風習
- ③鬼に扮した人を追い出す行事
- ④ヒイラギの枝にイワシの頭を刺して
- ⑤その年の縁起が良い方角を向いて太巻き（恵方巻き）を丸ごと食べて
- ⑥二月の立春のあと、初めて吹く南風は「春一番」といい、
- ⑦花冷えが続いたり春雨がしとしと降ったりするかわりやすい空模様が続く。
- ⑧最上段には宮中のお内裏様とお雛さま/おびなとめびな
- ⑨雛あられや菱餅
- ⑩ツバメが飛んできて、アンズの花が咲き
- ⑪モンシロチョウやアゲハチョウがひらひらと舞いはじめると、たちまちせわしく春を

迎える時期になる

- ⑫エープリルフール
- ⑬桜の花のつぼみがほころぶと、木の下にござを敷いて花見を楽しむ。
- ⑭懐メロの切ないメロディ（旋律/しらべ）
- ⑮物静かな夜、暗がりに隠れた桜を
- ⑯胸をはずませ/ふくらませ（わくわくしながら）新しい制服にランドセルを背負い
- ⑰水に溶いた小麦粉を楕円状に薄く焼き、小豆を入れて包み、塩漬けした桜の葉でくるんだ半月状の菓子
- ⑱新暦四月八日、すなわち「灌仏会」またの名「花まつり」は祝日でなく、
- ⑲「昭和の日」、「憲法記念日」、「緑の日」、「子供の日」などの「ゴールデンウィーク」とよばれる祝日が続き、
- ⑳鎧兜や武者（五月）人形を、
- ㉑大小の鯉のぼり一式をあげる。
- ㉒柏の葉で包んだ餡餅（柏餅）と、笹の葉でもち米をつつんで蒸した粽
- ㉓期待はずれで、単調で味気ない生活

夏

- ①夏至が過ぎ、一日中雨が降ったりやんだりする日が続くが、
- ②紫陽花の枝でじっとしているカタツムリ
- ③雨脚が強まれば稲が流されてしまうこともある。
- ④ものすごい稲妻と雷の音
- ⑤アメンボが歩き始めると
- ⑥つるを伸ばして咲く朝顔
- ⑦風鈴をつらしたり金魚鉢をおいたり、日差しで熱くなった庭には打ち水をしたりする
- ⑧夏バテしないように「暑中お見舞い申し上げます」という意味を込めて
- ⑨裏地を張らずべたべたしない着物だが、素足に下駄をはけば申し分ない（完璧だ/できあがりだ）。
- ⑩花火大会が競って開催され、かき氷や今川（大判）焼、焼きそば
- ⑪タコが入った丸い生地にソースをかけて食べるたこ焼きなどが飛ぶように売れる。
- ⑫ビアホール/ガーデンで生ビールとともに食べる、枝ごときった枝豆をさやのままゆでたものだ。
- ⑬「暑いときには熱いものを食べる」とでもいうか、土用の丑の日には夏バテをしないようにあつあつのうな丼/うな重を食べる習慣がある。
- ⑭織姫と彦星（牽牛と織女）が天の川を渡って
- ⑮PTA（保護者会）ごと/を単位に短冊に願い事を書き、笹につらして星に願う。
- ⑯暑がり、暑さに弱い/夏バテしやすい人
- ⑰疫病退散のために開いたことに由来し、今日の祭りとして定着して/根付いている。

- ⑱職人（匠）たちが腕をふるって作ったラッパ型の屋根がついた山車（山鉾）やきらびやかな鳳凰のついた神輿
- ⑲一糸乱れず呼吸を合わせねば思い通りに練り歩くことができないため、
- ⑳空を彩る花火
- ㉑中元/旧盆の7月15日
- ㉒韓国の中秋の名月と同じく、帰省した人たちが浴衣を着て広場で「カンガンスオウレ」を思わせる盆踊りを、輪になって踊ったり、
- ㉓ある強豪が 相手チームに1点差まで追い上げたのだが、9回の表ツーアウト満塁で盗塁をしようとした状況の下、惜しくもアウトになって負けた試合
- ㉔かっ飛ばせ！

秋

- ①熱帯夜で夜も寝苦しいとはいえ、九月になると蚊取り線香も底をつき、海にはクラゲがでて、蟬の代わりにキリギリスやコオロギの歌が聞こえだす。
- ②日中韓三国で共通する節句である中秋の名月は、旧暦八月十五日の満月（十五夜）を眺めるものだが
- ③ススキなど、秋の草花
- ④天高く馬肥ゆる秋には落葉広葉樹林が鮮やかな赤や黄色の紅葉に染まる/色づく。
- ⑤夕暮れ（黄昏）が迫り、雁が巣に向かって飛んでいくと、コオロギとスズムシなどが
- ⑥人数×食事代+式場の費用を計算し、同時にご祝儀がどれぐらいになるかあらかじめ予想するからだ。
- ⑦一歳のお祝い
- ⑧その年齢に達した子供たちに着物や背広を着せ、いい子にそだつ/なるように
- ⑨飴を引っ張ると長く伸びるように、
- ⑩木が枯れ木枯らしが吹きはじめると

冬

- ①柿の木のでっぺんに残っていた最後の実もなくなり、農家の軒先につらされた干し柿も白い粉を吹き始めるころ、みぞれとあられ、ひょうを率いて冬将軍がやってくる
- ②師走（霜月）になると会社ごとしめくくりとして忘年会を開く。
- ③クリスマス
- ④クリスマスイブ
- ⑤そり遊びに雪合戦
- ⑥翌年の厄を払う。
- ⑦「青組白組」ならぬ「赤組白組」に分かれて歌合戦をする番組や、隠し芸、K1などの番組が毎年放映される。
- ⑧大みそかの深夜十二時（午前0時）前後には、
- ⑨百八の煩惱をはらう。

韓国語で学ぶ日本⑩年中行事

氏名

① ^{かどまつ} 門松 (20 字前後の韓国語で説明)	
②新年のあいさつ/ ^{うるしぬ} 漆塗りの ^{さかずき} 盃に注いだ ^{とろろ} お屠蘇	
③子々孫々家を継ぐ/数の子/	
④束になった年賀状/郵便受けをくまなく探す	
⑤宝くじ/⑥ ^{たこあ} 麻揚げ/コマ回し/	
⑦羽根つき (30 字前後の韓国語で説明)	
⑧双六 (20 字前後の韓国語で説明)	
⑨百人一首 (30 字前後の韓国語で説明)	
⑩正月三が日/⑪選考試験/⑫寝正月	
⑭駅伝/⑮往路/復路/⑯裏番組/⑰御用始め	
①足が奪われる/季節の変わり目/	
②マスに入っているいり豆をまく/	
④ヒイラギ/イワシ/⑤太巻き/⑦花冷え	
⑦しとしと降る/⑧最上段/ ^{だいり} お内裏様/ ^{ひな} お雛様	
⑨雛あられ/ ^{ひしもち} 菱餅/⑩アンズ/⑪モンシロチョウ	
⑪アゲハチョウがひらひら舞う	
⑫せわしなく春を迎える/⑫エイプリルフール	

⑬つぼみがほころぶ/ござ/⑭懐メロ/せつない	
⑯胸をはずませて/ランドセル/⑰水に溶く	
⑰塩漬けした葉/半月状/⑱花祭り（二通り）	
⑲憲法記念日/みどりの日/ゴールデンウィーク	
⑳ ^{よろい かぶと} 鎧/兜/五月人形/㉑鯉のぼり	
㉒柏餅（20字前後の韓国語で説明）	
㉒ ^{ちまき} 粽（20字前後の韓国語で説明）	
㉓期待外れ/味気ない	
①雨が降ったりやんだりする/② ^{あじさい} 紫陽花	
②カタツムリ/③ ^{あまあし} 雨脚が強まる/稲が流される	
④ ^{いなずま} 稲妻/雷の音/⑤アメンボ/⑥つるを伸ばす	
⑥朝顔/⑦風鈴/金魚鉢/日差しで熱くなった庭	
⑧夏バテ/暑中お見舞い申し上げます	
⑨裏地をはる/べたべたする/申し分ない	
⑩花火大会が競って開かれる/かき氷/焼きそば	
⑪タコが入った丸い生地/飛ぶように売れる	
⑫ビアホール/枝ごと折った枝豆/さや	
⑬暑い時は熱いものを食べる/⑭織姫と彦星	
⑮PTA/短冊/ ^{まき} 笹/⑯暑がりな人/⑰ ^{やくびょうたいさん} 厄病退散	
⑰定着する/⑱腕を振るって作る/ ^{ほうおう} 鳳凰	

⑱一糸乱れず/思い通りに練り歩く/	
⑳空を彩る花火/㉑中秋の名月	
㉒盆踊り (30 字前後の韓国語で説明)	
㉓一点差まで追い上げる/9 回裏/㉔かっ飛ばせ	
①夜も寝苦しい/②蚊取り線香も底をつく/	
②クラゲ/セミ/キリギリス/コオロギ/②ススキ	
③天高く馬肥ゆる秋/落葉広葉樹/紅葉に染まる	
④夕暮れが迫る/雁/スズムシ/⑤ご祝儀	
⑥一歳のお祝い/⑦年齢に達した子供/背広	
⑧飴を引っ張ると長く伸びる/⑨木枯らし	
①干し柿/みぞれ/あられ/ひょう/②師走	
②しめくくり/忘年会/③クリスマス/④イブ	
⑤そり遊び/雪合戦/⑥翌年の厄をはらう	
⑦紅白歌合戦 (20 字前後の韓国語で説明)	
⑦かくし芸/⑧午前 0 時/⑨百八の煩惱をはらう	